

## 賛助会員

北海道栽培漁業振興公社 (060-0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目北海道第二水産ビル4階)  
阿寒観光汽船 株式会社 (085-0463 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔)  
全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (108-0074 東京都港区高輪 2 - 16 - 5)  
有限会社 浜野顕微鏡 (113-0033 東京都文京区本郷 5 - 25 - 18)  
株式会社 ヤクルト本社研究所 (186-8650 東京都国立市谷保 1769)  
神協産業 株式会社 (742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962 - 1)  
理研食品 株式会社 (985-8540 宮城県多賀城市宮内 2 - 5 - 60)  
マイクロアルジェコーポレーション (MAC) (104-0061 東京都中央区銀座 2 - 6 - 5)  
(株) ハクジュ・ライフサイエンス (173-0014 東京都板橋区大山東町 32 - 17)  
(有) 祐千堂葛西 (038-3662 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井 38 - 10)  
株式会社 ナボカルコスメティックス (151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 - 29 - 7)  
日本製薬 株式会社 ライフテック部 (598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)  
共和コンクリート工業株式会社 (060-0061 北海道札幌市中央区南1条西1丁目8有楽ビル)

### 海産微細藻類用培地

#### <特徴>

- ◎ 多様な、微細藻類に使用できる。
- ◎ 手軽に使用できるので、時間と、労力の節約。
- ◎ 安定した性能。
- ◎ 高い増殖性能。

#### 海産微細藻類用 ダイ IMK培地

- ・ 100L用×10 コード：398-01333
- ・ 1000L用×1 コード：392-01331

#### 海産微細藻類用 IMK培地添加人工海水 ダイ IMK-SP培地

- ・ 1L用×10 コード：399-01341

#### 海産微細藻類培養 ダイ人工海水SP

- ・ 1L用×10 コード：395-01343

「多くの微細藻類に共通して使える培地が市販されていない。」  
という声にお答えして、“株式会社 海洋バイオテクノロジー研究所”  
により、研究開発された培地です。

又、人工海水は海水 SP の成分が自然に近い形で混合されてお  
り、精製水に溶かすだけで海水として手軽に使用できます。

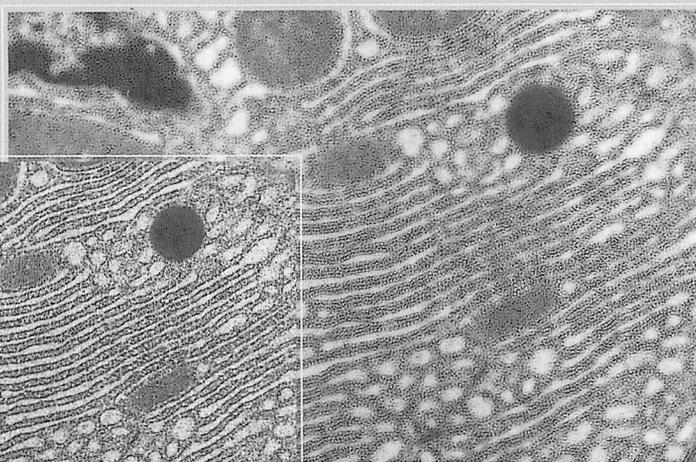
※人工海水 SP は千寿製薬株式会社の技術提携商品です。

製造 ㊤ 日本製薬株式会社 ライフテック部  
大阪府泉佐野市住吉町 26 番  
〒598-0061 TEL 0724-69-4622  
東京都千代田区東神田一丁目 9 番 8 号  
〒101-0031 TEL 03-3869-9236

販売 ㊤ 和光純薬工業株式会社  
大阪府中央区道修町三丁目 1 番 2 号  
〒541-0045 TEL 06-6203-3741  
東京都中央区日本橋四丁目 5 番 13 号  
〒103-0023 TEL 03-3270-8571

# HITACHI

オートフォーカスOFF



オートフォーカスON



## すっきり画像をすべてのユーザーに—— 高速オートフォーカス

### 特長

- 1 高速オートフォーカス機能を搭載し、0.9秒で焦点合わせが可能
- 2 TVカメラを標準装備し、明るい部屋で試料の視野探し撮影が可能
- 3 PC制御、GUI採用により、容易な操作
- 4 ネットワーク対応でリモート操作が可能 (オプション)

### 仕様

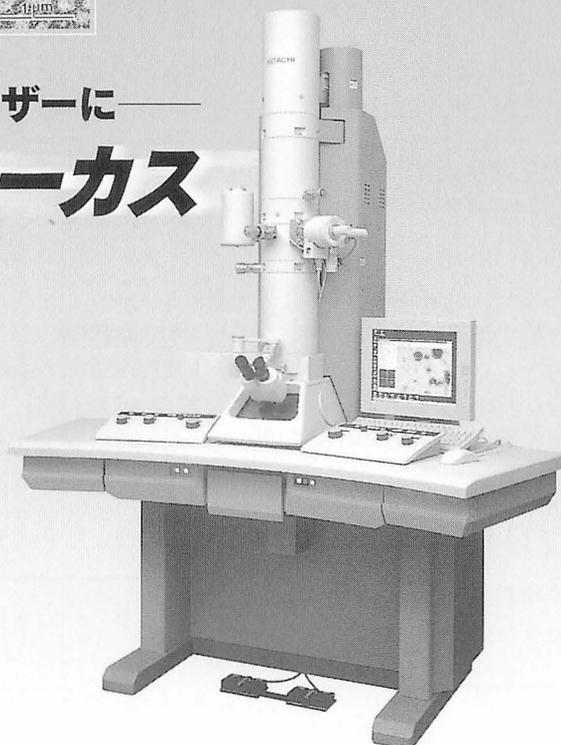
分解能：0.204nm(格子像)、0.36nm(粒子像)  
試料ステージ：高精度ハイバーステージ  
加速電圧：40~120kV  
倍率：Low Magモード×50~×1,000  
Zoomモード×700~600,000

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号  
電話ダイヤルイン(03)3504-7211

事業所 北海道(札幌) (011)221-7241 関西(大阪) (06)4807-2551  
東北(仙台) (022)284-2211 京都(京都) (075)241-1591  
筑波(土浦) (0293)25-4811 四国(高松) (0878)62-3391  
横浜(横浜) (045)451-5151 中国(広島) (082)221-4514  
中部(名古屋) (052)583-5851 九州(福岡) (092)721-3501  
北陸(金沢) (0762)63-3480

インターネットホームページ <http://www.hitachi-hitec.com/science/>



## 日立電子顕微鏡

# H-7600

新刊

# 有用海藻誌

## 海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 編著 B5判上製・総頁592頁・本体価格20000円

本書は海藻の生物学の解説にはじまり、応用の具体的事例を数多く紹介するとともに、今後期待される新分野、機能性成分についても現在得られている知見を盛り込む。生物学編、利用編、機能性成分編の3編31章から構成され、それぞれの分野で、長く研究にかかわってきた執筆者が、専門の分野を詳述する。

〔内容目録〕有用海藻の生物学 ヒトエグサ／アオサ類／アオノリ類／イワズタと暖海産緑藻／ワカメ／コンブ／モズク類とマツモ／ヒバマタ目類／アラメ・カジメ類／アマノリ類／テングサ類／オゴノリ類／ツノマタ類／サンゴモ類／地方特産の食用海藻／世界の海藻資源の概観 海藻の利用 海苔産業の歴史とその推移／昆布産業の歴史・現況と展望／ワカメ産業の現状と展望／ひじきと海藻サラダ産業の現状の展望／沖縄のモズク類養殖の発展史—生態解明と養殖技術／青海苔産業の歴史と現状／伝統的な寒天産業／カラギナン—その産業と利用—／アルギン酸—その特性と産業への展開—／藻の文化 海藻の機能性成分 海藻の抗がん作用／海藻と健康—老化防止効果—／海藻の化学成分と医薬品応用への可能性／海藻と肥料／海藻と化粧品 学名索引 和名索引 事項索引

# 新日本海藻誌 — 日本産海藻類総覧 —

吉田 忠生 著

B5判・総頁1248頁・本体価格46000円

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、1997年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

# 藻類多様性の生物学

千原 光雄 編著

B5判・400頁・本体価格9000円

第1章 総論 第2章 藍色植物門 第3章 原核緑色植物門 第4章 灰色植物門 第5章 紅色植物門 第6章 クリプト植物門 第7章 渦鞭毛植物門 第8章 不等毛植物門 第9章 ハプト植物門 第10章 ユーグレナ植物門 第11章 クロララクニオン植物門 第12章 緑色植物門 第13章 緑色植物の新しい分類

# 淡水藻類入門 淡水藻類の形質・種類・観察と研究

山岸 高旺 編著

B5判・700頁(口絵カラー含む)・本体価格25000円

「日本淡水藻図鑑」の編者である著者がまとめる、初心者・入門者のための書。多種多様な藻類群を、平易な言葉で誰にも分かるよう、丁寧に解説する。Ⅰ編、Ⅱ編で形質と分類の概説を行い、Ⅲ編では各分野の専門家による具体的事例20編をあげ、実際にどのように観察・研究を進めたらよいかを理解できるように構成する。

## 小林珪藻図鑑 近刊

小林 弘

南雲 保・出井雅彦・真山茂樹・長田敬五 著

## 日本の赤潮生物

—写真と解説—

福代・高野 共編

千原・松岡

B5・430p・13000円

## 原生生物の世界

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類

丸山 晃 著

丸山雪江 絵

B5・440p・28000円

## 藻類の生活史集成

堀 輝三 編

第1巻 緑色藻類 B5・448p(185種) 8000円

第2巻 褐藻・紅藻類 B5・424p(171種) 8000円

第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5・400p(146種) 7000円

## 日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5・960p・38000円

## 陸上植物の起源

—緑藻から緑色植物へ—

渡邊 信

堀 輝三 共訳

A5・376p・4800円

表示の価格は本体価格ですので、別途消費税が加算されます。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-34-3  
TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

内田老鶴園



---

## 学 会 出 版 物

---

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、各号、会員1,750円、非会員3,000円；30巻4号（創立30周年記念増大号、1-30巻索引付き）のみ会員5,000円、非会員7,000円；欠号1-2巻、4巻1、3号、5巻1、2号、6-9巻全号。「藻類」バックナンバーの特別セット販売に関しては本誌記事をご覧ください。
2. 「藻類」索引 1-10巻、価格、会員1,500円、非会員2,000円；「藻類」索引11-20巻、価格、会員2,000円、非会員3,000円、創立30周年記念「藻類」索引1-30巻、価格、会員、3,000円、非会員4,000円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類25巻増補、1977、A5版、xxviii + 418頁。山田先生の遺影、経歴・業績一覧・追悼及び内外の藻類学者より寄稿された論文50編（英文26、和文24）を掲載。価格7,000円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I.A.Abbot・黒木宗尚共編、1972、B5版、xiv + 280頁、6図版。昭和46年8月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20編の研究報告（英文）を掲載。価格4,000円。
5. 北海道周辺のコンブ類のと最近の増養殖学的研究 1977、B5版、65頁。昭和49年9月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4論文と討論の要旨。価格1,000円。

2004年7月5日  
2004年7月10日  
© 2004 Japanese Society of Phycology  
日 本 藻 類 学 会

編集兼発行者 前川行幸  
〒514-8507 三重県津市上浜町1515  
三重大学生物資源学部  
Tel & Fax 059-231-9530

禁 転 載  
不 許 複 製

印刷所 株式会社東プリ  
〒144-0052 大田区蒲田4-41-11  
Tel 03-3732-4155  
Fax 03-3730-8286

Printed by TOPRI

発行所 日本藻類学会  
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12  
山形大学理学部生物学科  
Tel 023-628-4610  
Fax 023-628-4625

## 藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第52巻 第2号 2004年7月10日

## 目次

## 藻場の景観模式図

寺脇利信・新井章吾：16. 北海道厚岸郡浜中町藻散布前浜地先のチェーン振り事業地・・・ 77

## 藻類学最前線

長里千香子：新規チューブリンの存在と微小管構造について・・・ 81

上井進也：大型藻類における最終氷期以降の分布拡大について・・・ 85

千原光雄：植物命名における“-phykos (-phycos または -phycus)”の性について・・・ 88

## 秋季藻類シンポジウム (2003. 10. 10) 「海藻加工技術の現状と展望」要旨

河村敏弘：伝統食品の海苔の歴史と加工・・・ 89

夜久俊治：コンブエキスの製造と利用・・・ 93

佐藤啓一：ワカメの利用開発と需要の拡大・・・ 97

山城繁樹・戸高義敦・南 元洋：ひじきの加工技術の現状と展望・・・ 101

鈴木 実：海藻の利用を拡大した海藻サラダ・・・ 106

大野正夫・加用守・川村伸正：ヒット素材の青海苔とモズク・・・ 112

## 日本藻類学会第28回大会開催記・参加記

本村泰三・堀口健雄：日本藻類学会第28回大会を終えて・・・ 119

島袋寛盛：日本藻類学会第28回大会参加記・・・ 120

佐藤康子：日本藻類学会第28回大会公開シンポジウム

「北海道におけるコンブ研究の現状とその問題点」参加記・・・ 121

大田修平：ワークショップ参加記・・・ 122

関本訓士：2003年度「藻類談話会」参加報告・・・ 123

学会・シンポジウム情報・・・ 124

秋季藻類シンポジウム

藻類談話会

新刊案内・・・ 125

英文誌Phycological Research 51 (4), 52 (1)掲載論文和文要旨・・・ 126

学会録事・・・ 130